

平成 25 年度 鎌ヶ谷市市民意識調査 調査結果報告（概要版）

～「鎌ヶ谷市に住み続けたい」が 71.4%（前回 69.0%）～

市民意識調査は、市民の皆さんの声を今後のまちづくりに反映することを目的に、5年ごとに実施しています。

平成 25 年 8 月に実施した市民意識調査の調査結果の概要をお知らせします。

調査概要

◆調査地域	鎌ヶ谷市全域
◆調査対象	市内在住の20歳以上の市民
◆対象者数	3,000人
◆抽出方法	住民基本台帳より層化二段無作為抽出
◆調査方法	郵送配布・郵送回収
◆調査期間	平成25年7月22日～平成25年8月5日
◆回収状況	回収数 1,667件（55.6%） 有効回収数 1,665件（55.5%）

※各設問の回答率は、数値の四捨五入による端数処理や複数回答を可とする場合に、合計が100%にならない場合があります。

※全ての調査結果は、図書館（本館・分館）、情報公開コーナー（市役所3階）、まなびいプラザや市のホームページで閲覧することができます。

調査項目

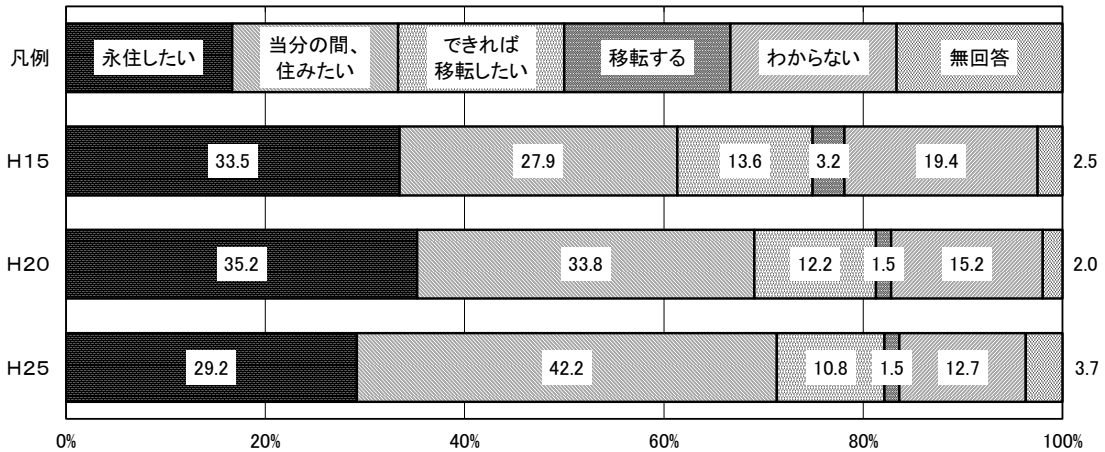
1 鎌ヶ谷市のイメージについて	9 魅力あるまちづくり・都市基盤整備について
2 住み心地について	10 少子・高齢化対策について
3 地域活動について	11 国際交流について
4 市政について	12 男女共同参画社会について
5 日常生活について	13 消費生活について
6 鎌ヶ谷市の施策について	14 広報について
7 行政サービスについて	15 調査回答者の属性
8 防災対策について	16 自由意見

1 定住意識

◇ “住み続けたい” は増加傾向続く

問 これからも鎌ヶ谷市に住み続けたいと感じますか。(回答は1つ)

定住意識は、“住み続けたい”（永住したい+当分の間、住みたい）は平成15年度以降増加傾向にあり、本調査では71.4%と7割強が住み続けたいと考えています。一方、“移転を考えている”（できれば移転したい+移転する）は平成15年度以降減少傾向にあり、本調査では12.3%となっています。

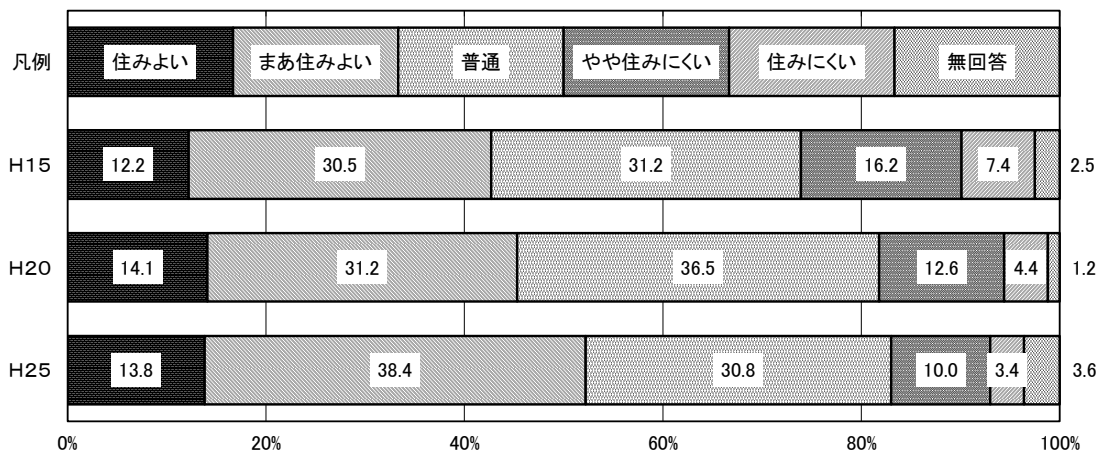


2 住みよさ意識

◇ “住みよい” は5割強に増加

問 鎌ヶ谷市を住みよいと感じますか。(回答は1つ)

住みよさ意識は、“住みよい”（住みよい+まあ住みよい）は平成15年度以降増加傾向にあり、本調査では52.2%で5割強を占めています。一方、“住みにくい”（やや住みにくい+住みにくい）は平成15年度以降減少傾向にあり、本調査では13.4%となっています。

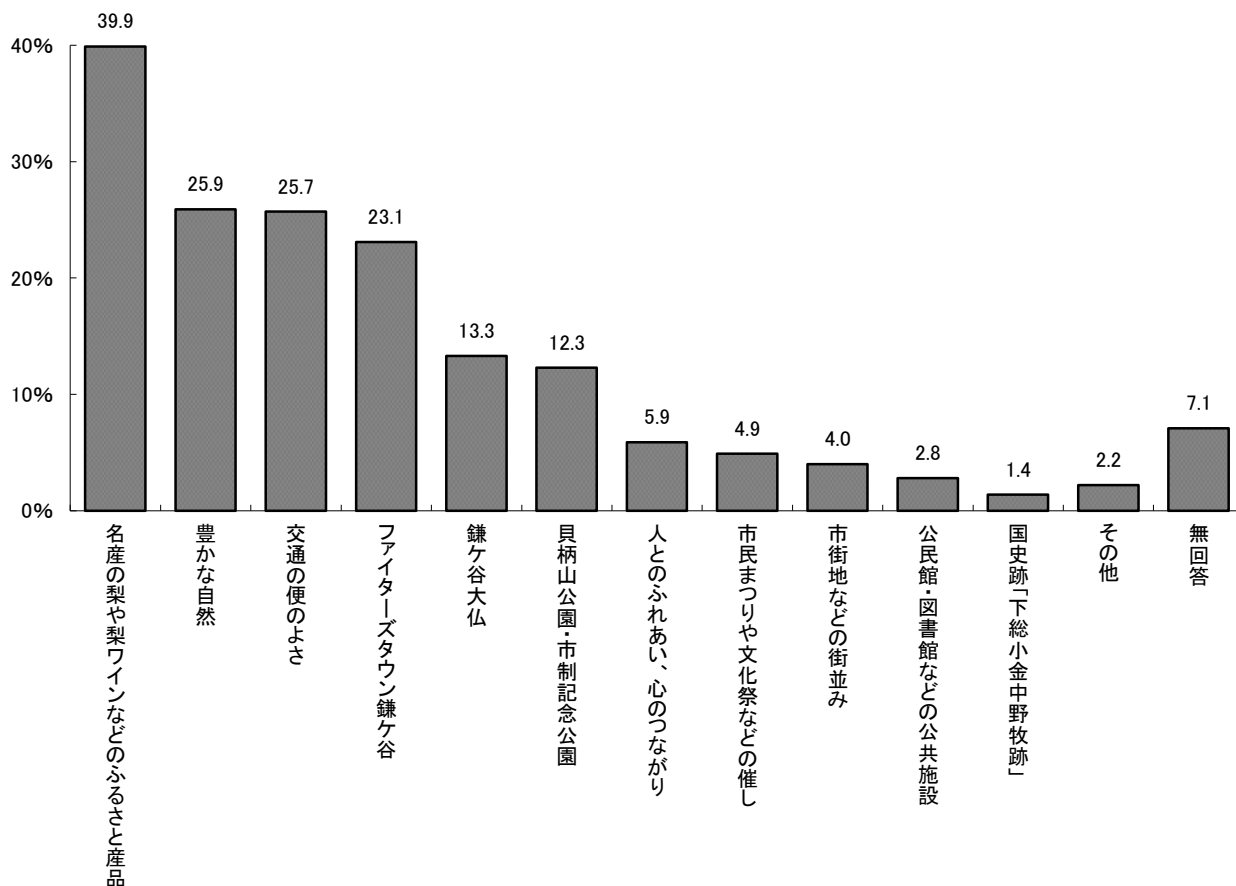


3 鎌ヶ谷らしさ

◇名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品が約4割

問 「鎌ヶ谷らしさ」を感じさせ、愛着や誇りを持つことができるものは何ですか。(回答は2つ以内)

鎌ヶ谷らしさは、「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」が39.9%で最も高く、約4割を占めており、次いで「豊かな自然」(25.9%)、「交通の便のよさ」(25.7%)と続いています。



4 市の施策・サービスの満足度・重要度

◇今後の重要度が高いとあげられた施策は「道路の整備」、「防犯対策」、「駅周辺の整備」

問 鎌ヶ谷市の施策・サービスについて、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。(項目ごとに回答は1つずつ)

市の施策・サービスの満足度が高い項目は、「ごみ・し尿処理対策」、「駅周辺の整備」、「公共交通体系の整備(鉄道、バスなど)」があげられています。一方、不満足度が高い項目は、「道路の整備」、「魅力ある商店街づくり」、「駅周辺の整備」などがあげられており、今後の重要度が高い項目は、不満足度が高い項目でも挙げられた「道路の整備」、「駅周辺の整備」のほか、「防犯対策」などがあげられています。

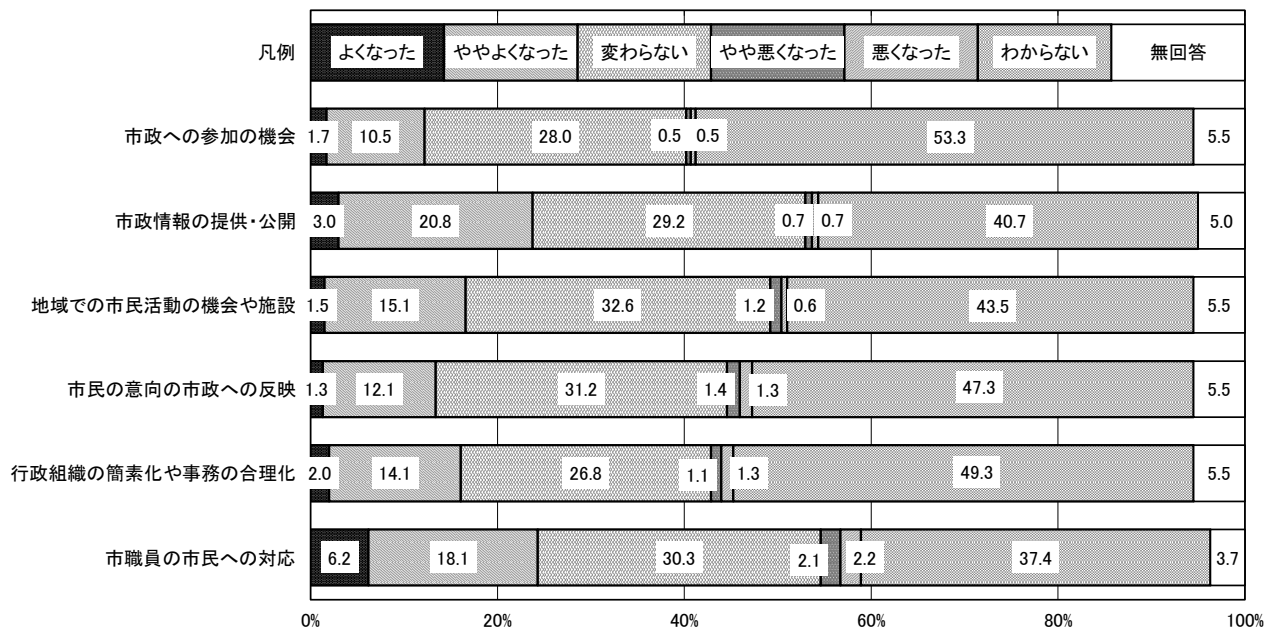
満足度が高いもの	不満足度が高いもの	今後の重要度が高いもの
ごみ・し尿処理対策	道路の整備	道路の整備
駅周辺の整備	魅力ある商店街づくり	防犯対策
公共交通体系の整備(鉄道、バスなど)	駅周辺の整備	駅周辺の整備
新しい市街地の整備	公共交通体系の整備(鉄道、バスなど)	地震などの防災対策
公園や緑地、街路樹などの整備	既存市街地の整備・再開発	交通安全対策

5 市の行財政運営

◇各項目で“よくなった”は“悪くなった”を大きく上回る

問 5年前に比べて、現在の鎌ヶ谷市の行財政運営はどの程度進んだと思いますか。(項目ごとに、あなたの評価に近いものを1つずつ回答)

市の行財政運営は、“よくなった”(よくなった+ややよくなった)という回答が最も高いのは「市職員の市民への対応」で24.3%、次いで「市政情報の提供・公開」(23.8%)、「地域での市民活動の機会や施設」(16.6%)となっています。

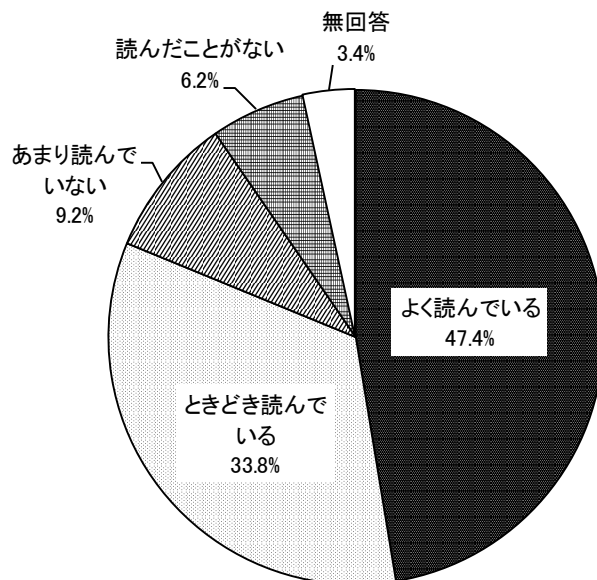


6 「広報かまがや」を読んでいる割合

◇“読んでいる”が8割強

問 「広報かまがや」を読んでいますか。(回答は1つ)

「広報かまがや」について、「よく読んでいる」が47.4%、「ときどき読んでいる」が33.8%で、“読んでいる”(よく読んでいる+ときどき読んでいる)という回答は、81.2%と高くなっています。一方、“読んでいない”(あまり読んでいない+読んだことがない)という回答は15.4%となっています。

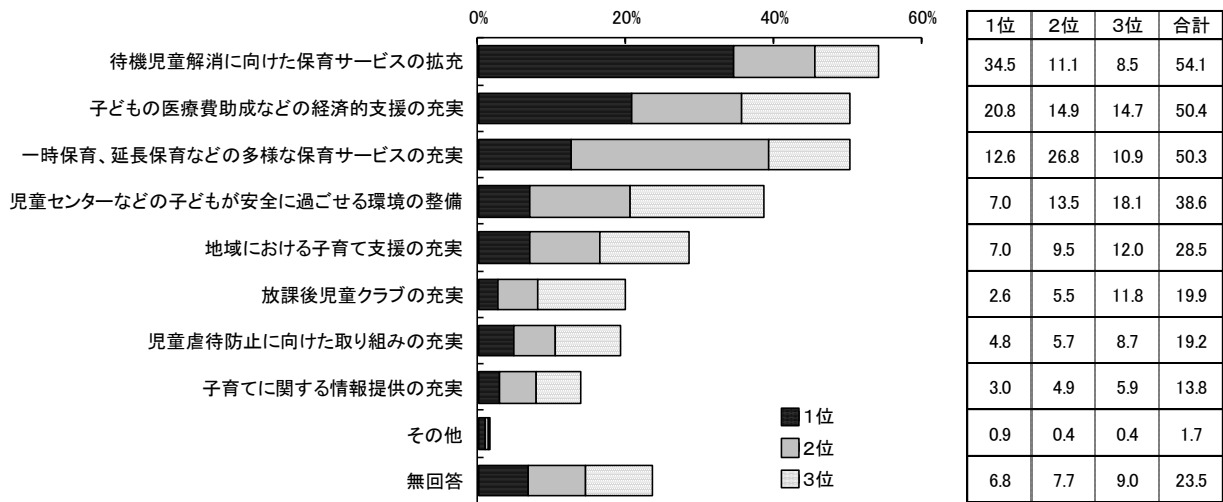


7 子育て環境を整備するために必要な施策

◇「待機児童解消に向けた保育サービスの拡充」が34.5%で最多

問 子どもが健やかに育てられる環境を整備するために、どのような施策が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて回答)

子育て環境を整備するために必要な施策の1位は、「待機児童解消に向けた保育サービスの拡充」が34.5%で最も高く、次いで「子どもの医療費助成などの経済的支援の充実」(20.8%)、「一時保育、延長保育などの多様な保育サービスの充実」(12.6%)となっています。1位～3位を合わせると、上記の3項目が同様に上位を占めています。

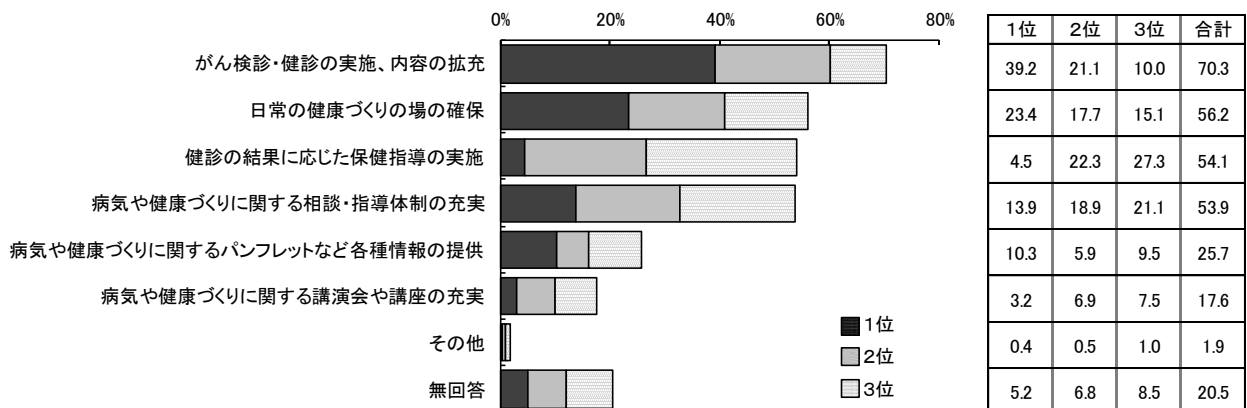


8 市民の健康を維持するために必要な施策

◇「がん検診・健診の実施、内容の拡充」が約4割

問 市民が健康を維持するために、どのような施策が必要だと思いますか。(第1位から第3位までの順位をつけて回答)

市民の健康を維持するために必要な施策の1位は、「がん検診・健診の実施、内容の拡充」が39.2%で最も高く、次いで「日常の健康づくりの場の確保」(23.4%)、「病気や健康づくりに関する相談・指導体制の充実」(13.9%)となっています。1位～3位を合わせると、「健診の結果に応じた保健指導の実施」が「病気や健康づくりに関する相談・指導体制の充実」を上回っています。

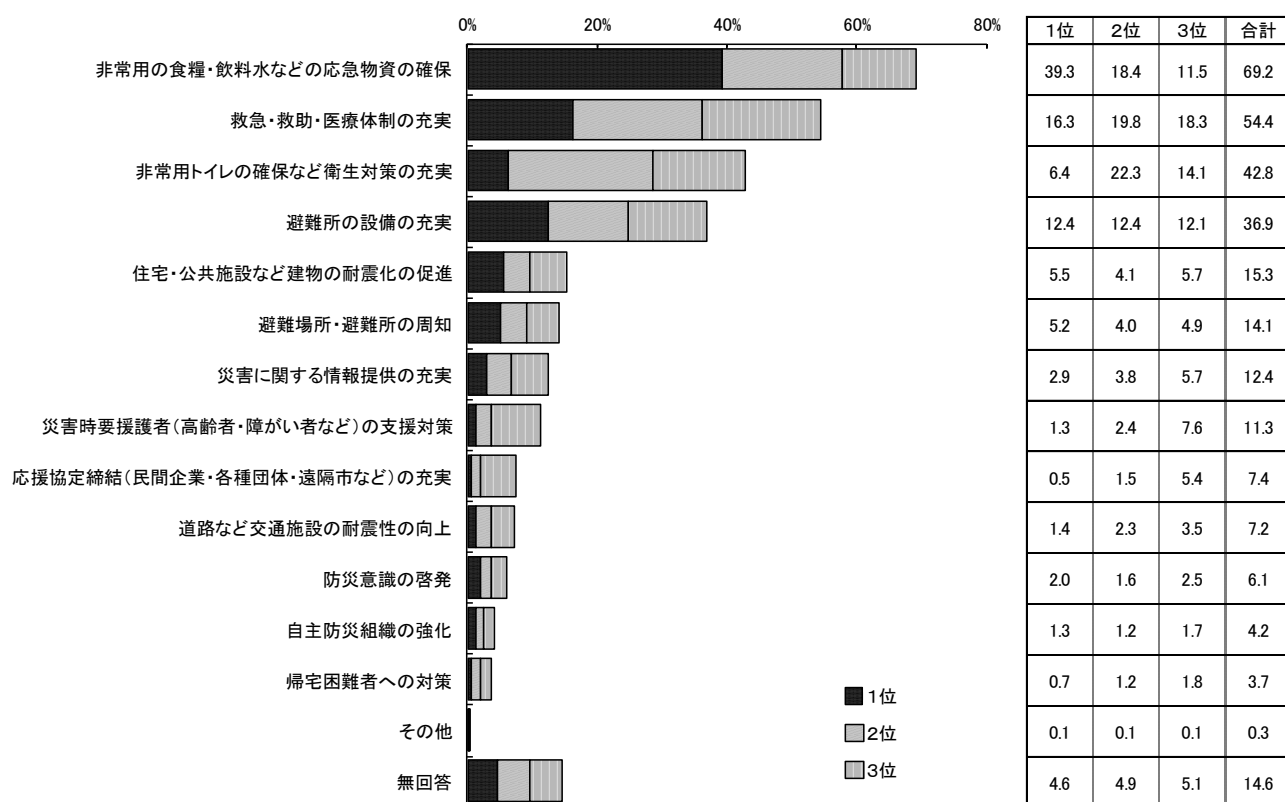


9 防災対策として重視すべき施策

◇「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」が39.3%で最多

問 市が行う防災対策として、どのような施策を重視すべきとお考えですか。（第1位から第3位までの順位をつけて回答）

防災対策として重視すべき施策の1位は、「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」が39.3%で最も高く、次いで「救急・救助・医療体制の充実」（16.3%）、「避難所の設備の充実」（12.4%）となっています。1位～3位を合わせると、最も重視すべき施策は「非常用の食糧・飲料水などの応急物資の確保」、次いで「救急・救助・医療体制の充実」、「非常用トイレの確保など衛生対策の充実」となっています。

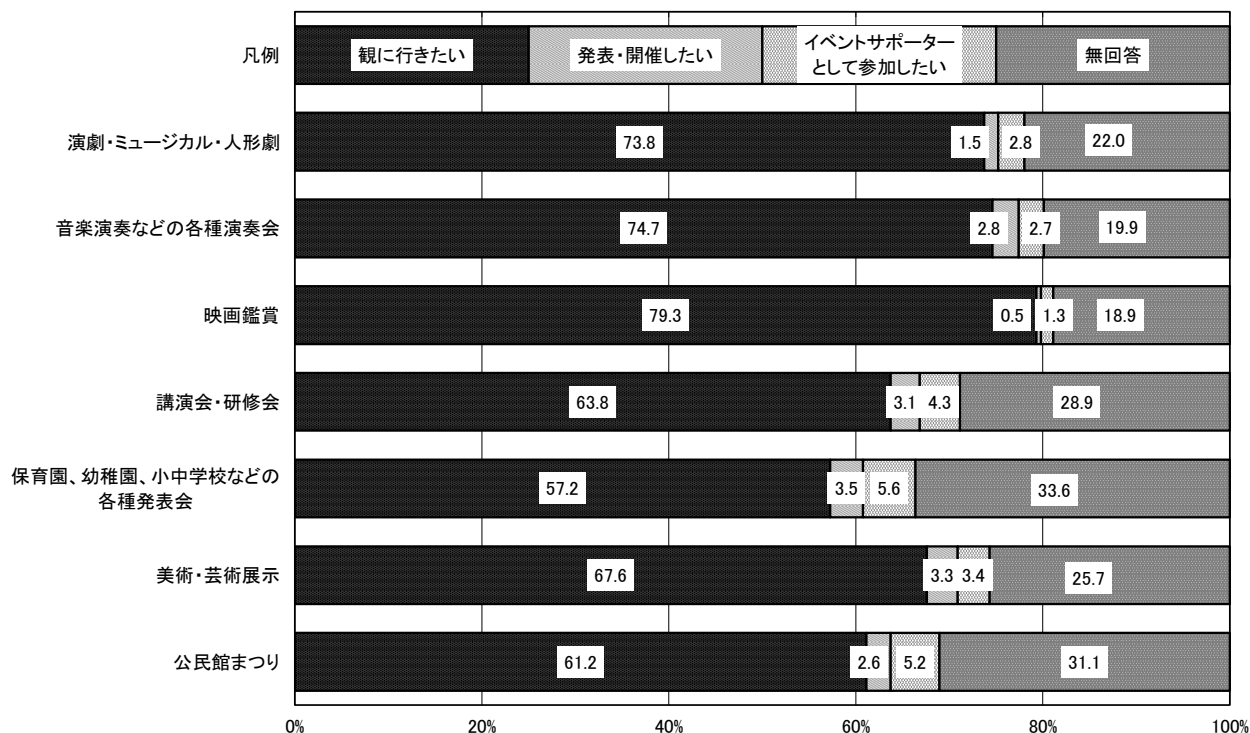


10 きらり鎌ヶ谷市民会館に期待すること

◇映画や演劇などを鑑賞目的での利用を期待

問 きらり鎌ヶ谷市民会館にどのようなことを期待しますか。(項目ごとに回答は1つずつ)

きらり鎌ヶ谷市民会館に期待することは、すべての項目で「観に行きたい」が半数以上を占めており、中でも「映画鑑賞」は79.3%が「観に行きたい」となっています。



ご協力ありがとうございました。
今後のまちづくりの貴重な資料
として活用します。

